

## 第3回京都府立青少年海洋センター魅力向上検討会議次第

日時：平成26年10月1日（水）

14:00～

場所：メルパルク京都

研修室2

1 開会

2 議題

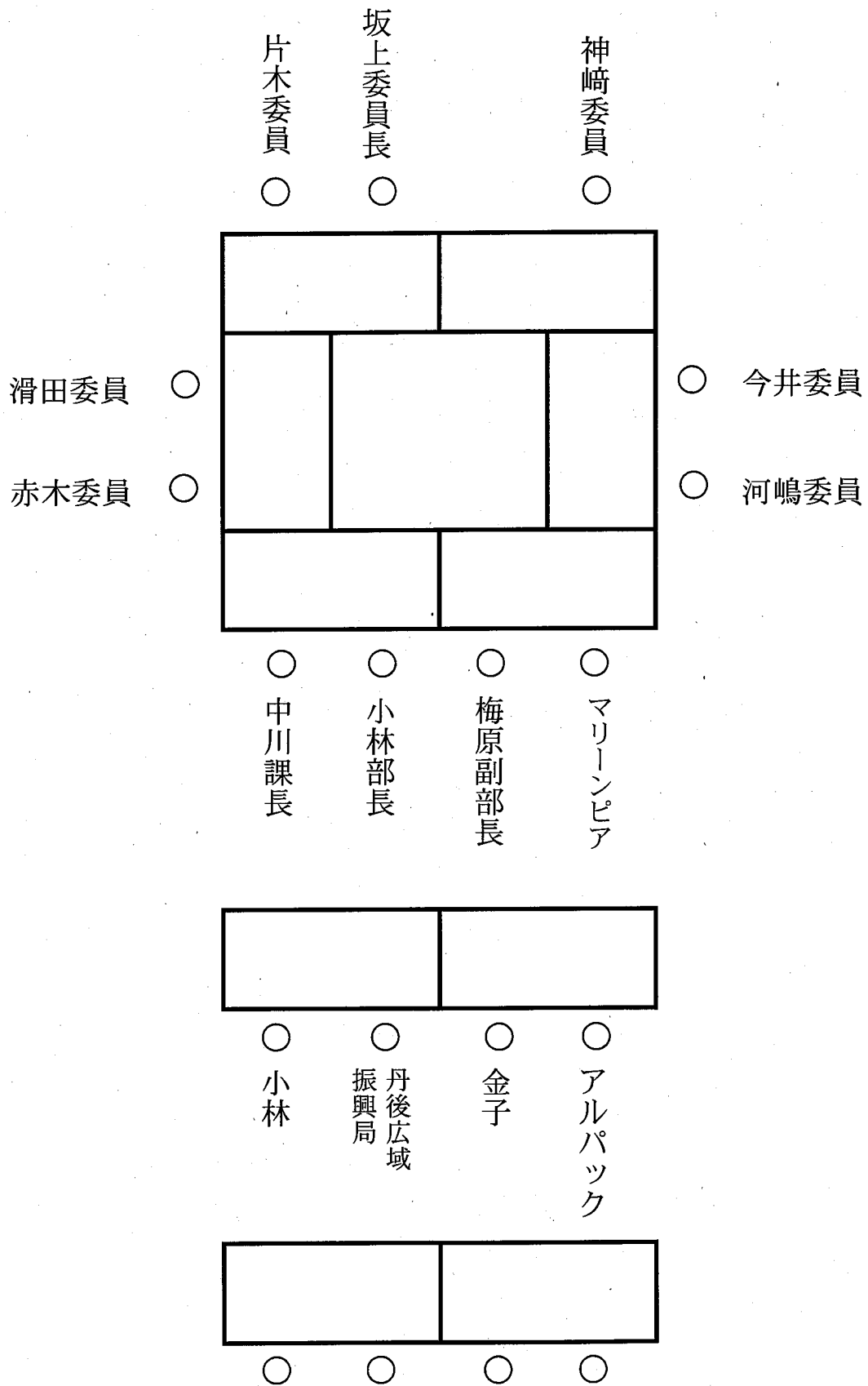
(1) 前回までの議論をふまえた具体的プランの提案

(2) 意見交換

(3) まとめ

3 閉会あいさつ

第3回京都府立青少年海洋センター魅力向上検討会議 配席図



【施設を取り巻く現状】

1. 児童生徒数の減少
2. ゆとり教育の見直しによる宿泊体験等の事業数や宿泊日数の減少
3. 施設や提供プログラムの
4. 運営経費や人件費の削減などによりプログラム指導や資源の活用のための体制が不十分
5. スマホやゲームなど、子供たちの興味やニーズの多様化
6. 新しい価値の提案への取り組み不足



施設利用者の減少  
運営予算の減少  
運営体制の弱体化  
類似施設との競争激化

【今後の取り組みの方向・対策】

1. 現行利用者の満足度や感動度の向上
2. 地域の資源をつなぎ、活用する仕組みやプログラム開発等による新しい利用層の開拓
3. 他の施設との差別化や地域特性を活かした個性化への取り組み
4. プログラム内容充実等の為の人材育成や活用の仕組みづくり
5. 施設の新しい役割、価値の創造

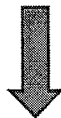


1. 既存の利用者の満足度向上や新しい利用層の開拓
  - a. 施設・設備・・・○トイレや洗面所などの水回りの整備（洋式トイレや洗面所、浴室改修）等の老朽化対策
    - 海の食文化や炊飯プログラムの為の雨天でも利用できる炊事場、バーベキューサイトの整備
    - 海に博物館スペース改修による食堂の拡張や食堂テラスの整備、室内の体験活動やミーティング等のスペースの充実
    - 利用グループの小人数化による少人数グループの同時使用等への対応
    - 施設のバリアフリー化
    - 専門機関や学校等の連携による特色をもった施設整備の取り組み（京都建築大学校や宮津高校建築科との連携や協働等による）
  - b. プログラム・・・
    - 海の漂流物を活かしたビーチコーミングのクラフトや海の海流等の学習
    - 釣りやもんどりなど、海の恵みや漁の工夫を学ぶプログラム
    - 海の恵みを活用した調理プログラムや食文化の体験学習プログラムの充実（魚介類を使った食事やバーベキュー等を楽しむプログラム（シーフードカレーや竹輪づくり、干物やアカモクなどを使った食体験など）

- カヌーやイカダなどの組み立てキット等を整備し、海の体験内容の充実（雨天時でも屋内で組み立て体験等が可能な他、チームでの共同作業や海での実習体験の感動を高める）
- 自転車を活用した栗田半島や宮津の市街、天橋立や阿蘇海、伊根をつなぐサイクリングプログラム
- 周辺地域や丹後半島全体を海の体験フィールドとしたプログラム開発
  - ア. 養老や伊根の定置網体験や魚の水揚げや選別等の体験
  - イ. 伊根の舟屋集落の海に寄り添う生活文化の学習
  - ウ. 琴引き浜の鳴き砂やジオパーク、浦島伝説等の民話や歴史、自然環境の学習
  - エ. 高山のブナ林等の海と山との関わりの学習や保全活動体験
  - オ. 阿蘇海や天橋立の環境保全活動体験
  - カ. 伊根の舟屋再生等の地域の保全活動に体験参加できるプログラム開拓
  - キ. 京都府水産試験場の育てる漁業や水産高校の実習船見学等の地域の資源を生かした学習プログラム開拓

c. 人材育成の仕組みづくりによる他の施設との差別化とプログラムの充実・・・

- 指導プログラムの充実や資源活用のための人材育成の事業センターの整備
  - ア. 人材育成活動の為に滞在、活動ベースの整備
    - スタッフの宿泊滞在、資材の保管、プログラム開発やミーティングのスペース、実習指導等の施設整備（舟屋を模した施設等）
    - モンベル等の企業や外部の団体と連携した指導者育成プログラムの開発や提供、指導者セミナー等の企画・実施
  - イ. 野外活動やマリンスポーツ等の事業化や独立を志向する人材に、マリニピアでのプログラム開発や指導、集客等の経験や事業化のためのチャレンジの機会提供等による指導人材の育成とマリニピアでの活用
  - ウ. マリニピアや地域での海洋体験プログラムの指導やプログラム充実による施設や地域の魅力づくり、価値の創造を生み出す拠点づくり
  - エ. 多様な野外や海の体験活動団体や活動者等とのネットワークづくりによる情報の発信や収集の強化
- 3年程度の経験を経て地域での海や野外プログラム体験等の事業者への自立支援



2. 利用増が見込まれる対象・・・
- 既存の学校団体や子供の活動団体（プログラムや施設の充実）
  - 親子等の家族利用（野外炊飯やバーベキューサイト、プログラムの充実）
  - 障害を持った子供たち等の団体利用
  - 修学旅行や体験学習のグループ利用（地域や丹後半島をフィールドとすることで活動が広がり）
  - 大学生団体やゼミ（プログラム開拓やフィールド調査、地域や施設

と連携した取り組み提案等により)

\*9月や3月を重点誘致の期間としての取り組み)

○外国人利用 (関西の各大学や各県の国際交流協会と連携した丹後・天橋立の体験プログラムに共同企画提案による誘致)

\*台湾、韓国等の人数の多い海外からの修学旅行の受け入れ誘致  
(地域での学校交流プログラムと合わせ)

\*京都市内、美山とつなぐ日本文化や食文化体験プログラムによる海外からの青少年グループ誘致 (インバウンド取扱いエージェント等へのプログラムの売り込み等)

# 京都府立青少年海洋センターマリーンピア リニューアル案

## 【基本的な考え方】

### ■到達すべき目標

- 低迷している施設の活性化を図る
- 民間では十分に提供できない、青少年のための宿泊研修の場を提供し続ける

### ■課題の認識

施設の老朽化

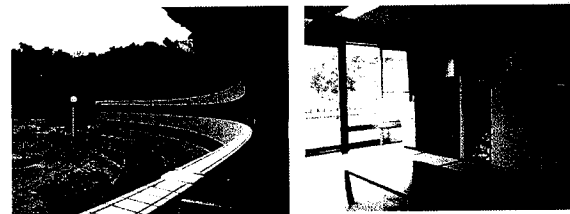
機能の  
社会的寿命

体験プログラム  
等の改善余地

#### 施設の現状

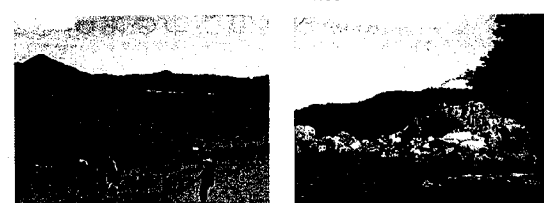
#### 宿泊

老朽化への最低限の対応が必要  
(食堂、トイレ改修等)



#### 体験学習 (屋外)

資源の魅力は高く、体験プログラムが  
充実すればさらに向上する余地あり



#### 体験学習 (屋内)

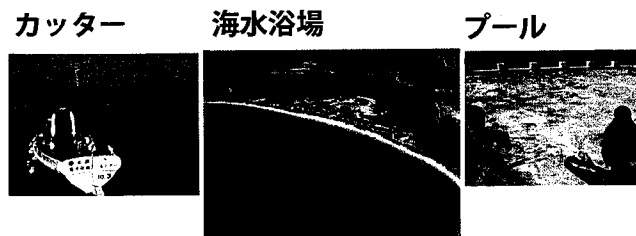
機能が社会的寿命を迎えており、  
ハード・ソフトともに全面刷新が必要



体験  
学習

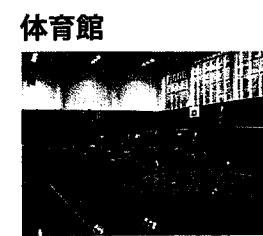
#### スポーツ (屋外)

資源の魅力は高いが、マリンスポーツの  
指導者不足で、活用しきれてない



#### スポーツ (屋内)

本施設としては、現状のもので  
必要十分である



### ■リニューアル方針

#### 施設利用者について

- メインターゲットは従来同様に青少年
- 加えて、新たに利用を促進するターゲットを設定
  - ① 大学生 (これまで利用の少ない層)
  - ② 障がい者や障がい児等 (公共施設として必要な対応)

#### リニューアルの方向性

#### (1) 海の科学館に代わる施設の特徴づけ (コンセプト)

- これまでの検討を踏まえたアイデア (詳細次頁)

A: マリンレジャー拠点施設

D: スポーツ宿泊施設

B: 「海の幸」の体感施設

E: 障がい児の宿泊体験施設

C: 海や山の自然の体験施設

F: ラーニング・コモンズ施設

#### (2) 施設改修 (ハード対応)

- 海の科学館の跡地活用
- 宿泊施設・食堂の老朽化対応 (レストラン、トイレ等)
- 施設全体のバリアフリー化

等

#### (3) 運営体制の再構築 (ソフト対応)

- 地域と連携した体験プログラムの充実
- マリンスポーツの指導者不足の解消
- その他、外部機関との連携

等

## アル案]

### これまでの検討会議におけるアイデア

羊施設として、海をテーマとしたサービスプログラムの充実が必要では。  
ンスポーツのインストラクターのスキルアップ施設としての運用が考えられる。  
ンスポーツのインストラクターに移住してもらうことはできないか。(所得補償を行い、  
ービス提供を担ってもらえないか)

巷を有するまちとして、食育をテーマとした施設にできないか。  
共達が魚を捌いて調理できる体験施設として活用してはどうか。  
を見渡せる2階部分を、レストランとして活用してはどうか。  
ソキテラスを設け、潮風を感じながら食事できるのも楽しいのではないか。

共が興味を持つアミューズメントや、海や芝生の広場、周囲の林といった自然環境を活か  
ヒアスレチックなどの充実が必要ではないか。  
プログラムの充実に向けては、活動団体や指導者との連携が必要ではないか。

学生のスポーツ合宿などに適した施設として活用することはできないか。  
較的閉じられた環境にあるなかで、マリンスポーツやパラリンピックを目指す学生の練習  
としての活用はできないか。

部分は比較的バリアフリー環境が整っており、障がい児を対象とした施設として活用す  
ことが考えられる。(特別支援学校では、受け入れ可能な施設を探している)  
がい児の宿泊体験などの施設としては、バリアフリー化はもちろんのこと、付き添う大人  
自まることができるようにすることが必要

### 事務局からの追加提案

科学館に代わる青少年に体験学習の場を提供できないか。  
団学習の手法として、大学等で進んでいるラーニング・コモنزの考え方を取り入れられ  
るか。

### リニューアルプラン案

#### A: マリンレジャー拠点としてのリニューアル

- マリンレジャーの体験施設、インストラクター養成・スキルアップのための拠点施設としてリニューアル

#### B: 「海の幸」の体感施設としてのリニューアル

- 宮津の「海」と「食」を楽しみながら、食育につなげる施設としてリニューアル

#### C: 海や山の自然の体験施設としてのリニューアル

- 海や山といった自然の中で、頭と体を動かしながら楽しめる施設としてリニューアル

#### D: スポーツ合宿施設としてのリニューアル

- スポーツの合宿施設としてリニューアルし、その視点を合わせ、障がい者スポーツ拠点としてリニューアル

#### E: 障がい児の宿泊体験施設としてリニューアル

- 通常の施設では受け入れの難しい障がい者の団体が宿泊し、自然を体験することができる施設としてリニューアル

#### F: ラーニング・コモنز施設としてのリニューアル

- 宮津の海を素材とした体験を知識・創造へとつなげるワークショップの体験施設、学生のフィールドワーク拠点としてリニューアル

# A: マリンレジャー拠点としてのリニューアル

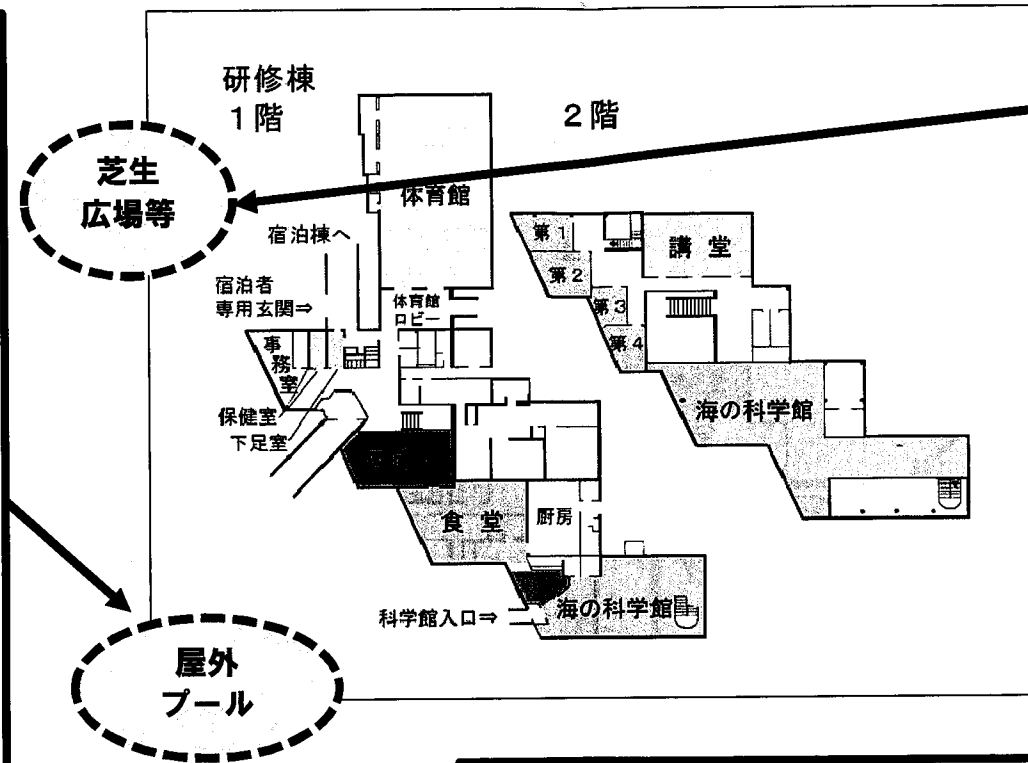
## コンセプト

- 各種マリンレジャーを楽しむ拠点としてのリニューアル
- マリンレジャーのインストラクター養成やスキルアップの講習拠点施設としてリニューアル

### ① スキューバダイビング等のトレーニングプールの整備

#### ハード対応

整備箇所：屋外プール他  
 整備内容：スキューバダイビングやカヤックなどの初心者が、安全にトレーニングできよう屋外プール等を改修



### ② インストラクター講師・候補生用宿泊施設の整備

#### ハード対応

整備箇所：芝生広場等  
 整備内容：マリンレジャーのインストラクター等の宿泊施設を整備



### ③ 海のスキルワークショップやインストラクター養成プログラムの提供

#### ソフト対応

実施内容：手旗信号やロープワークなど、海のスキルを活かした子供向けワークショップの開催  
 マリンレジャーのインストラクター養成プログラムの提供  
 体制構築：近隣マリーナとの連携（講師派遣等）、スポーツ系専門学校等との連携（候補生の送り込み）





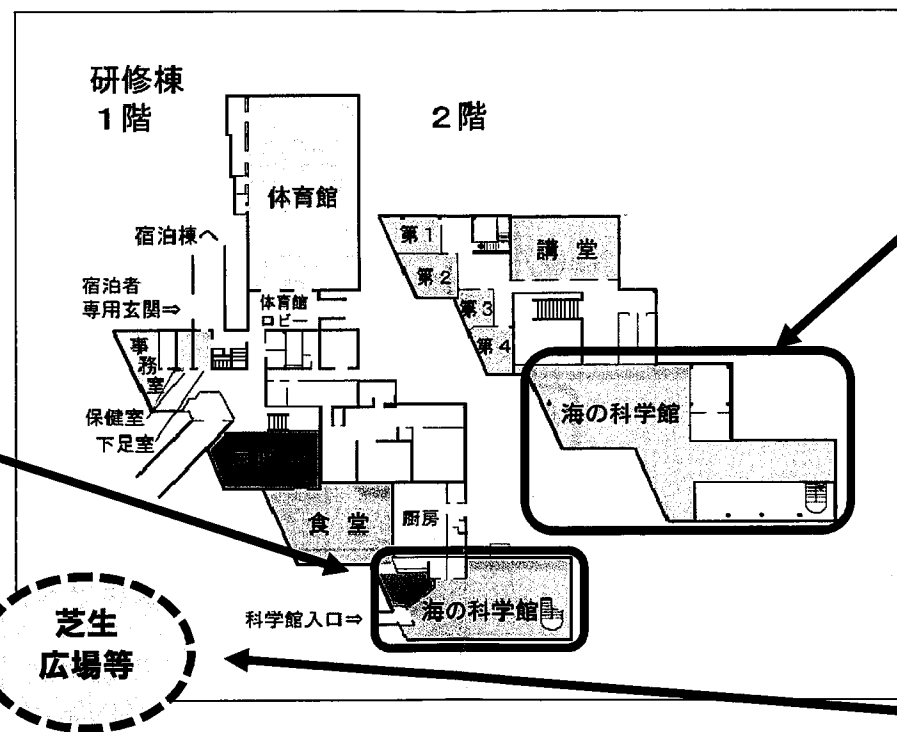
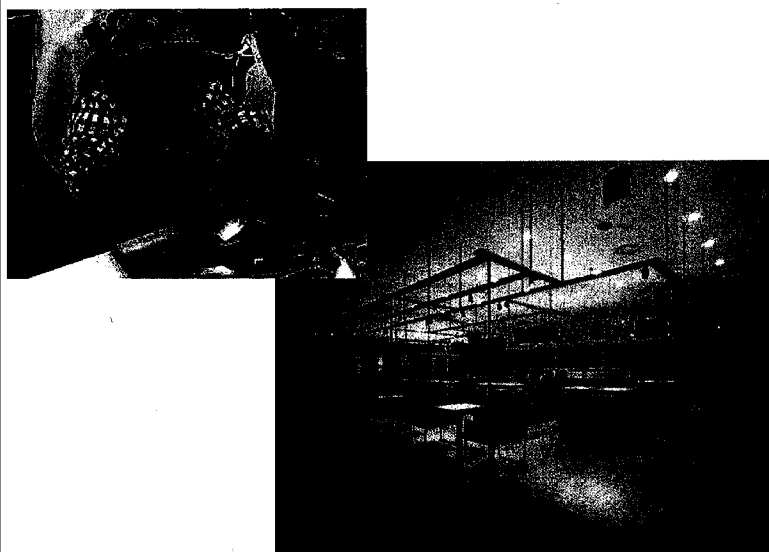
## B: 「海の幸」の体感施設としてのリニューアル

### コンセプト

- 海のまち「宮津」の魚を中心とした食育の拠点としてリニューアル
- 魚の生態を知るとともに、魚を捌き調理して食べることまでの一連の作業を通じた食育のプログラムを提供
- 2階の海を眺望できる場所をレストランとしてリニューアル

### ①調理実習室の整備 **ハード対応**

整備箇所: 「海の科学館」1階部分  
 整備内容: 子どもたちが、魚を捌くところから体験できる調理スペースとして改修



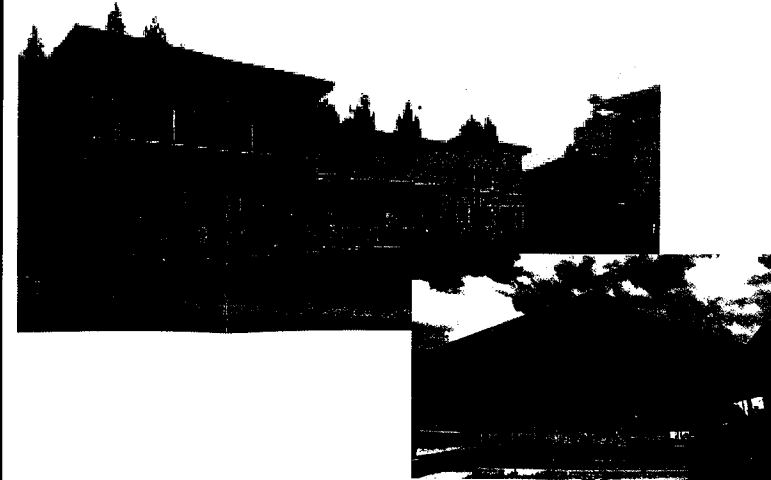
### ②レストランの整備 **ハード対応**

整備箇所: 「海の科学館」2階部分  
 整備内容: 海が見える2階部分を、レストランとして改修。テラス席を設けるなど海を楽しみながら食事ができる空間として改修



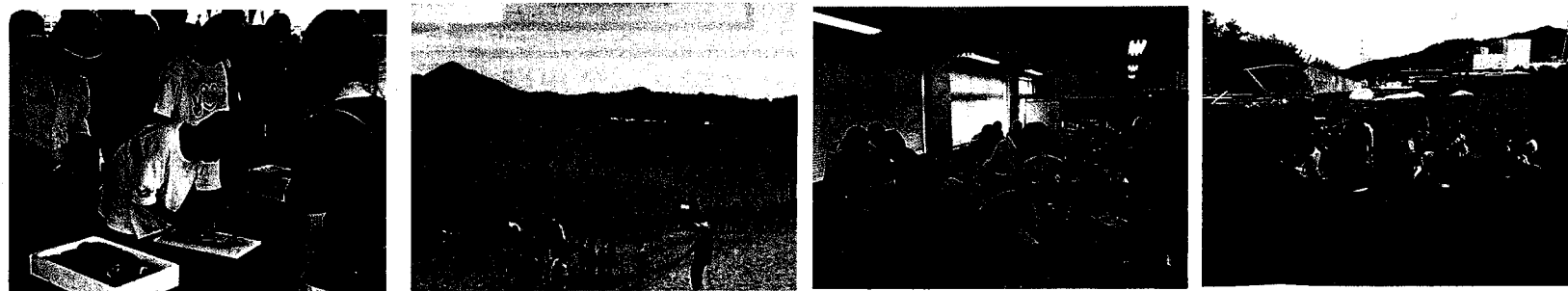
### ③屋外テラスの整備 **ハード対応**

整備箇所: 芝生広場等  
 整備内容: バーベキュースペースや、オープンカフェなど、屋外スペースを飲食の場として整備



### ④地元漁協等と連携した体験プログラム **ソフト対応**

実施内容: 地引網、漁師料理、魚つかみなどの体験を漁師や研究者から直接学ぶ体験プログラムを提供  
 体制構築: 地元漁協や、京都大学舞鶴水産実験所等との連携



## C：海や山の自然の体験施設としてのリニューアル

### コンセプト

- 都市部から訪れる子どもたちが、宮津の海や山の自然を体感するための機能を強化
- 臨海学校での利用を想定し、天候に関わらず、頭と体を動かしながら楽しめる屋内型プログラムを充実

### ①宮津の磯の体験施設の整備

ハード対応

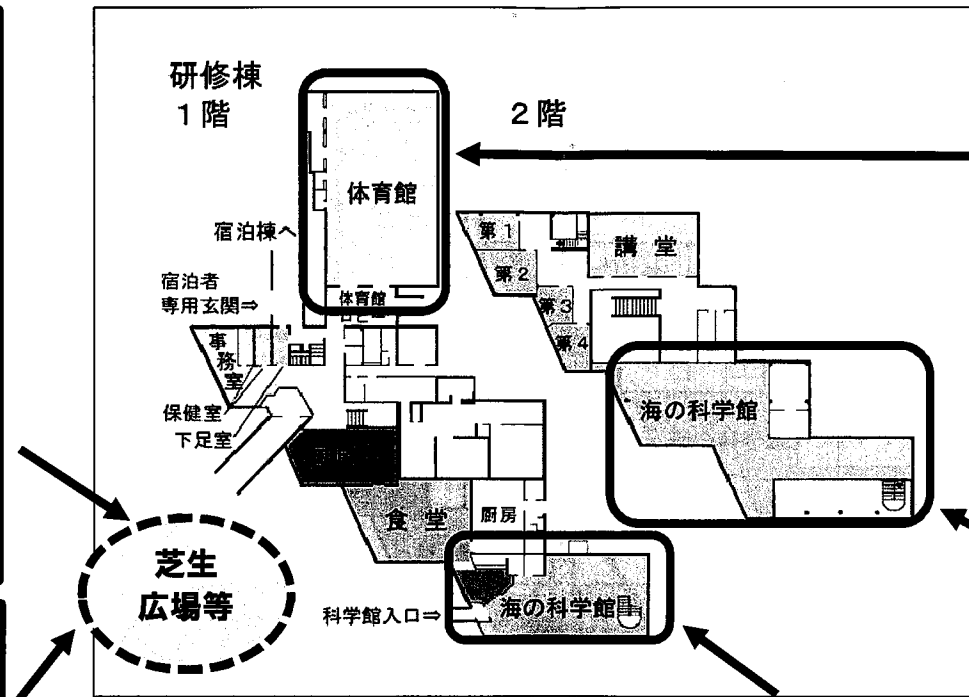
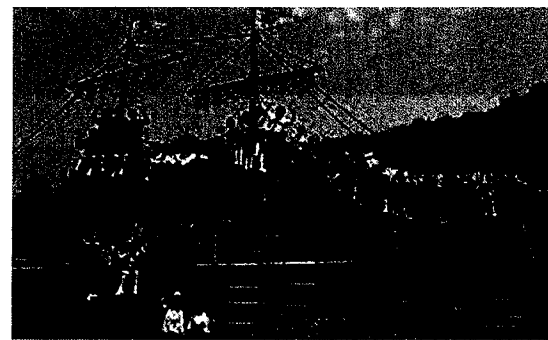
整備箇所：芝生広場等  
 整備内容：魚などの手づかみ体験などができる  
 小学生低学年でも安全な磯場を整備



### ②アスレチックの改修

ハード対応

整備箇所：芝生広場等  
 整備内容：シンボリックな外観をもつアスレチックを  
 改修・拡張し、魅力を高める



### ④ボルダリングの設置

ハード対応

整備箇所：体育館  
 整備内容：子どもが雨天でも体を動かせるよう  
 体育館にボルダリング用の壁を設置



### ⑤クラフトルーム（図工室）の整備

ハード対応

整備箇所：海の科学館（2F）  
 整備内容：雨でも宮津の自然素材を使った工作が  
 できる図工室を整備



### ③クラゲの水族館の整備

ソフト対応

整備箇所：海の科学館（1F）  
 整備内容：宮津近海で見ら  
 れるクラゲの展示



### ⑥屋内型オリエンテーリング、脱出ゲーム等エンターテインメントプログラムの実施

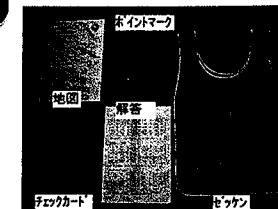
ソフト対応

実施内容：屋内型オリエンテーリング等、天候に関わらず楽しめるエンターテインメントプログラムを実施  
 体制構築：自前で簡易なプログラムをつくるほか、民間事業者の協力を得てイベントとして開催する等

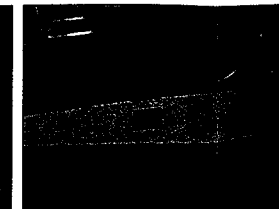
※脱出ゲームとは  
 部屋に隠された様々なアイテム、暗号、パズルを解き、制限時間内に部屋から脱出するゲーム。

館内オリエンテーリング（国立立山青少年自然の家）

脱出ゲーム（世田谷ものづくり学校）



貸し出し用具



ポイントマークを館内の決められた範囲にセットし、マスターマップを作ります



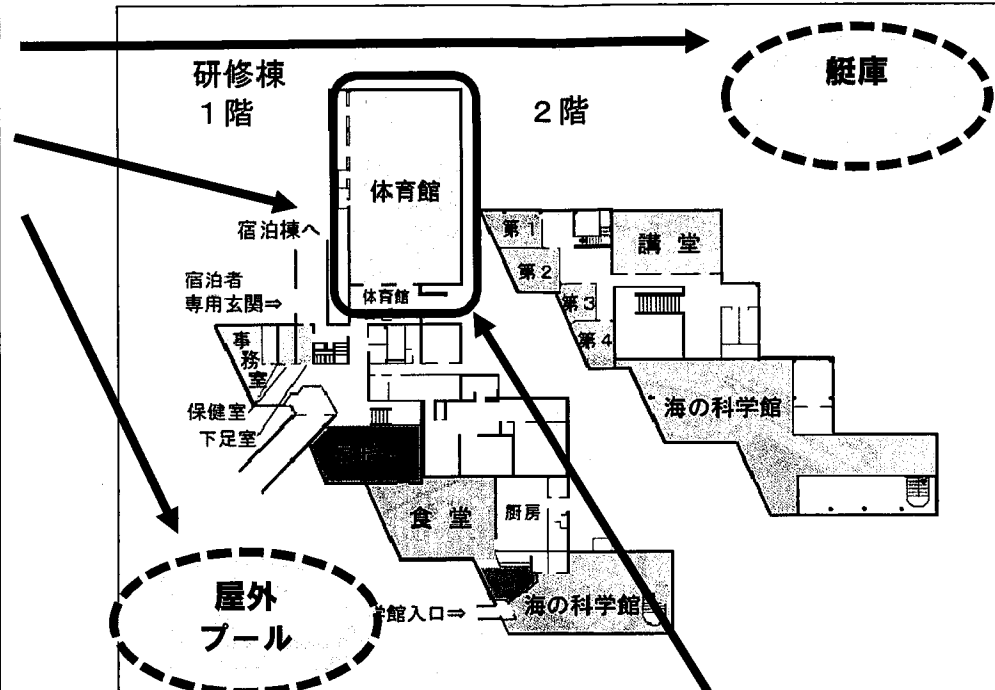
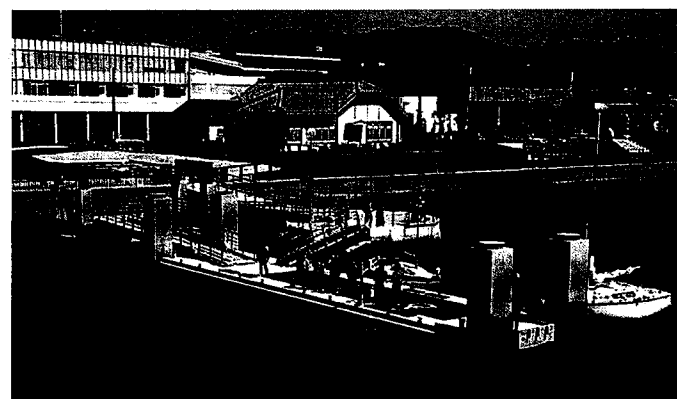
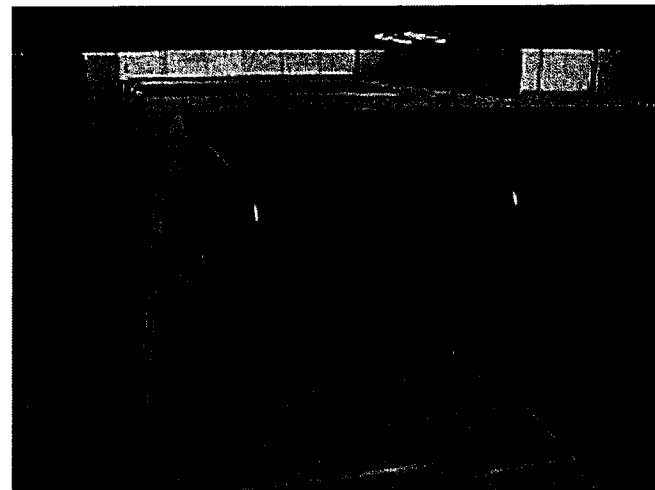
(株)SCRAP  
 ホームページより

**コンセプト**

- 宮津の海を活かしたマリンスポーツを中心とした合宿の利用を促進
- パラリンピックなどを旨とする障がい者アスリートの合宿所として必要な設備整備

**① スポーツ施設のバリアフリー化** **ハード対応**

整備箇所：体育館、屋外プール等  
 整備内容：各スポーツ施設における段差の解消、及び障害者トイレの設置、プールへのスロープの設置、バリアフリー棧橋の設置（田井宮津ヨットハーバー）等



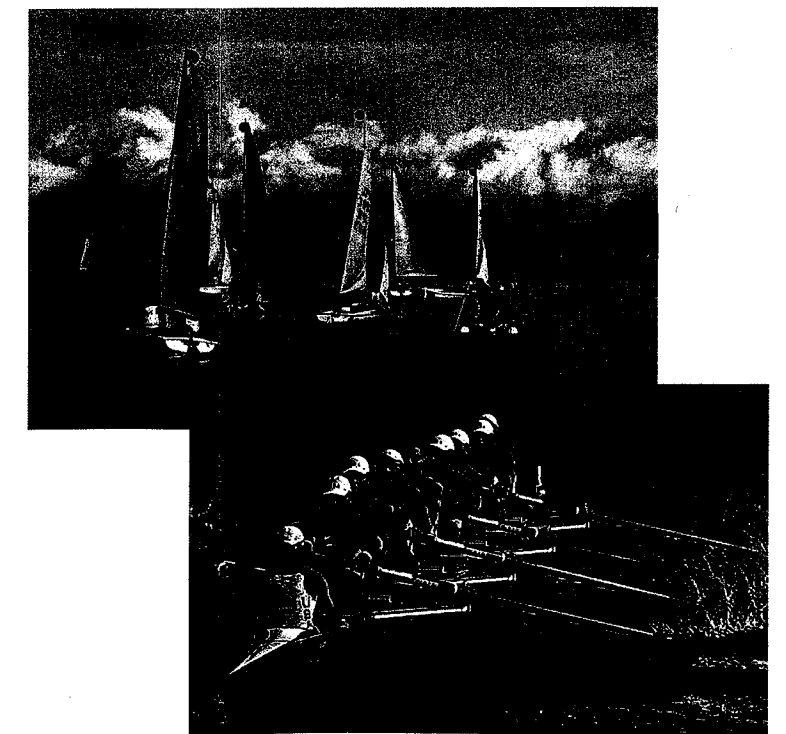
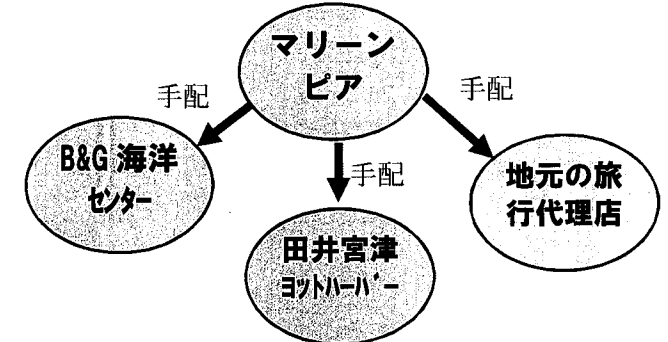
**② 障害者スポーツの備品の整備** **ハード対応**

整備箇所：体育館等  
 整備内容：競技用車イス等の備品の整備・貸出



**③ スポーツ合宿コーディネーター** **ソフト対応**

実施内容：合宿主催者の手配の負担を軽くするため、スポーツ施設の予約、送迎バスの手配等サポートサービスを提供  
 体制構築：周辺施設や地元旅行代理店との連携



## E：障がい児の宿泊体験施設としてリニューアル

### コンセプト

- 一般宿泊施設では受け入れが難しい障がい児団体が宿泊可能な施設としてのリニューアル
- バリアフリー環境を整えるとともに、自然体験が可能な施設としてリニューアル

### ① 宿泊室のリニューアル

ハード対応

整備箇所：宿泊室（1階）

整備内容：車いすも対応可能なフローリング、ベッド等の設置 介助者も同室可能な部屋として整備

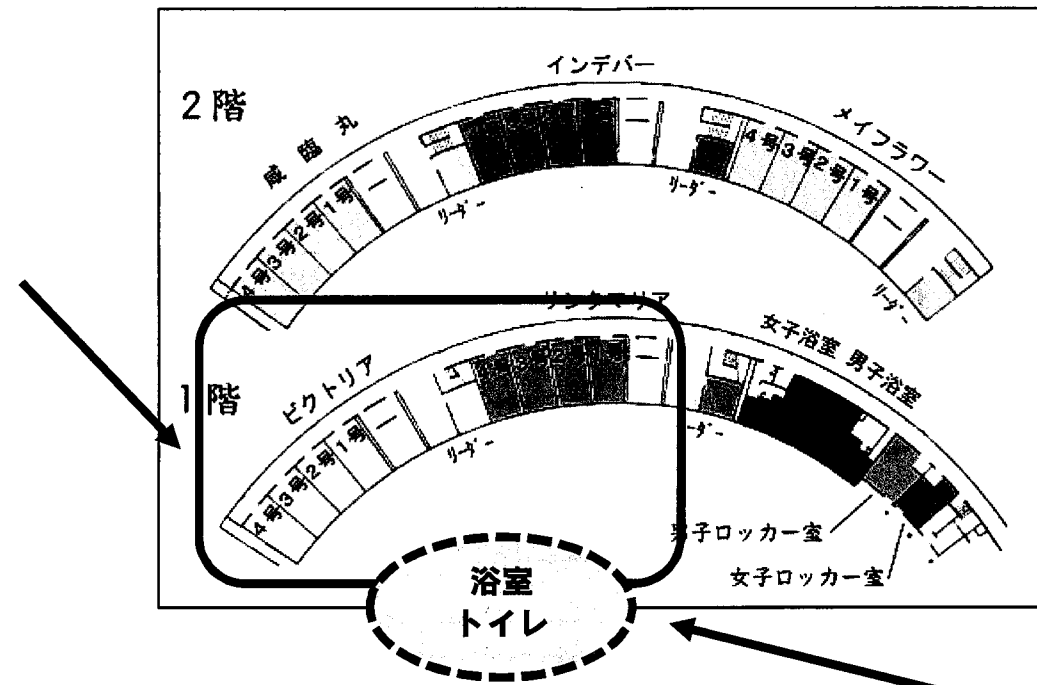
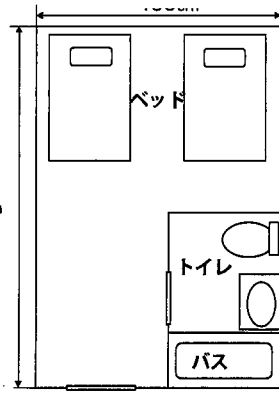
現状



改修イメージ



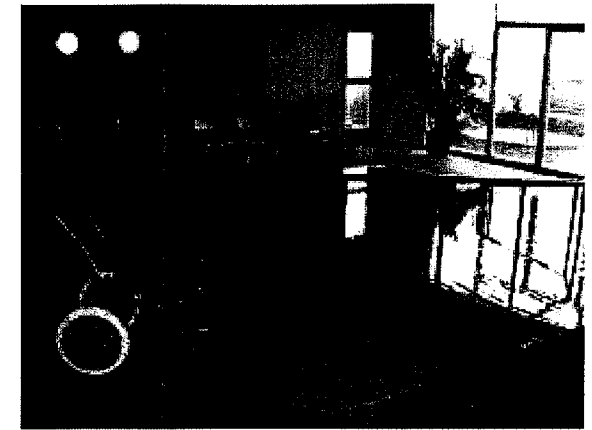
間取りの変更



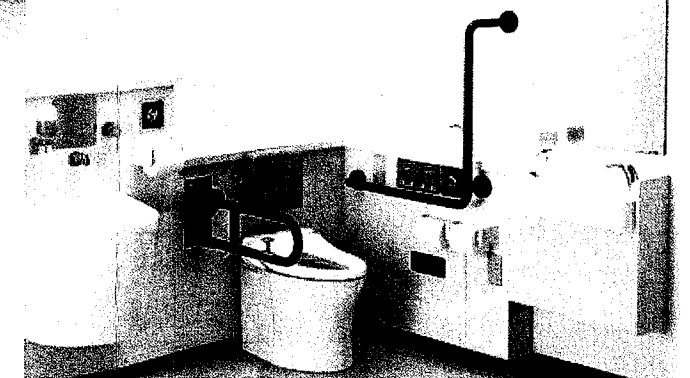
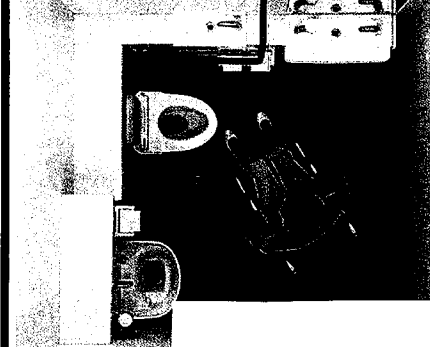
### ② トイレや浴室のバリアフリー化

ハード対応

整備内容：オストメイト対応トイレや車いす対応バスなど、施設のバリアフリー化を行う



制約がある場合の空間

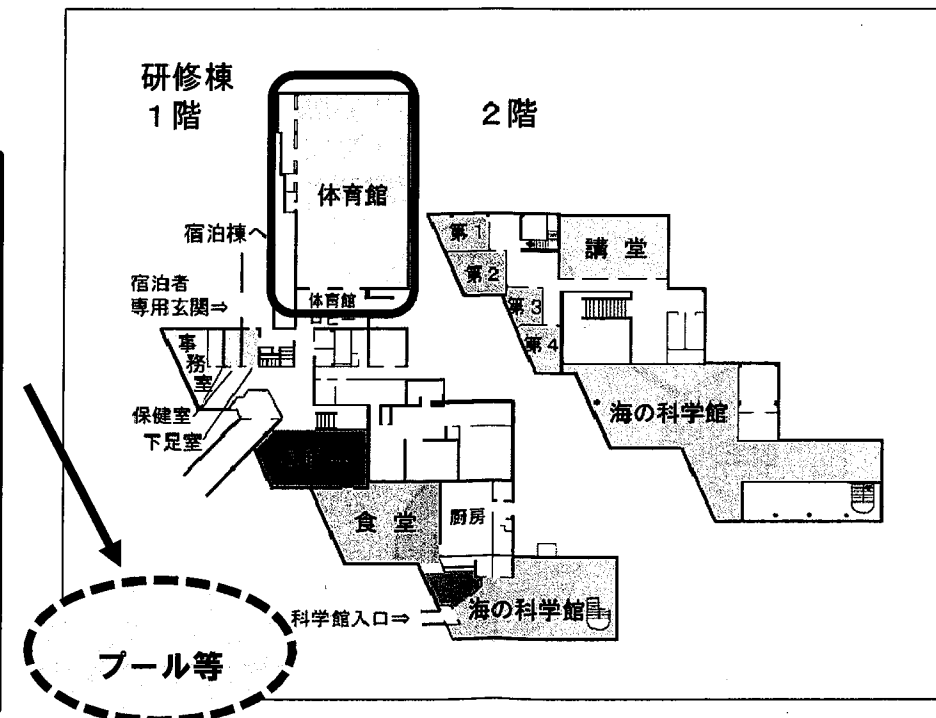


### ③ 体験プログラムのバリアフリー化

ハード対応

整備内容：障がい者がスポーツやプログラムを楽しむ施設 改修や設備機器を準備

水陸両用車いす



## F:ラーニング・コモンズ施設としてのリニューアル

### コンセプト

- 宮津の海を素材とした体験を知識・創造へとつなげるワークショップの体験施設としてリニューアル
- 大学生のゼミや中学・高校生の理科系クラブの、合宿・フィールドワークの拠点としての利用を促進

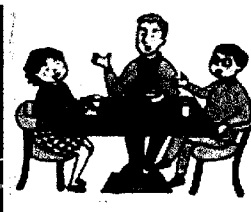
### ラーニング・コモンズとは

- 学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供すること。

### 事例：同志社大学 良心館

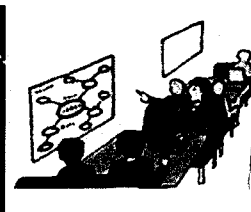
まず  
アイデアと  
出会う  
(共同化)

情報交換スペース



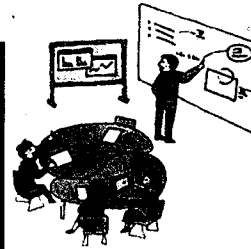
誰かに  
話す  
(表出化)

打ち合せスペース



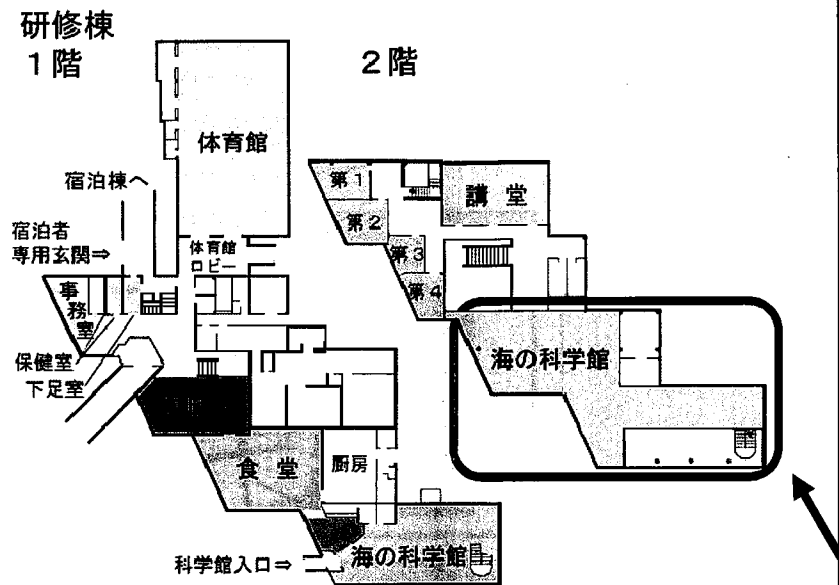
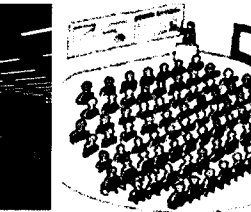
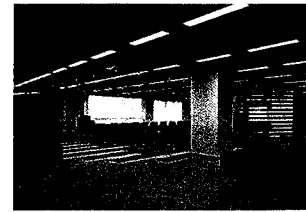
まとめる  
(連結化)

グループスタディルーム



やってみる  
(内面化)

プレゼンテーションコート

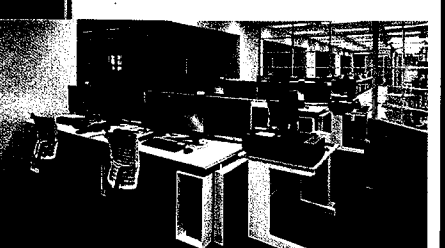


### ①海のラーニング・コモンズの整備

ハード対応

整備箇所：「海の科学館」2階部分

整備内容：宮津の海の体験、海に関する様々な素材をもとに、仲間との議論を通じて、体験や情報の知識化、アイデアの計画化を実践できる場の提供  
プレゼンテーションコート、ワークショップルーム、ライブラリー、デジタル編集機器等の整備



### ②ラーニング・コモンズの支援体制

ソフト対応

実施内容：海に関するデジタル教科書やワークショッププログラムを開発する  
漁港とのオンライン会議の実施のほか、民泊・漁業体験などオプショナルツアーと連動させる  
体制構築：ラーニング・コモンズの運営にあたっては漁協や教育機関の協力、サポートを得て行う。

